

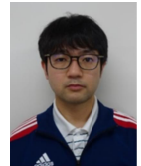
編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680

TEL 0969-22-5339 • 0969-22-1766 FAX 0969-22-5090

E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp • reizan2@muse.ocn.ne.jp

社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>

Instagram「[れいざんのニコニコ日より](#)」毎週火曜日更新中



『第六五回九州地区』

知的障害関係

『施設長等研究大会』

施設長 鮑田 一喜

日中は暑い一方、夜から朝にかけてやらなければいけない仕事は何かという涼しくなつてまいりました。県内でインフルエンザの感染者が徐々に増加していますので、皆様におかれましては手洗い、うがいを欠かさず予防できることを願います。先日大分で研究大会が開かれました。テーマは「やさしさは、社会を面白くする」とあります。発表された事例には、特別養護老人ホームでのノーリフティング（抱えない）ケア、相談支援事業でのA Iとクラウド（インターネット上の保管）の活用、児童発達支援事業所では自分の施設に合ったA Iとシステムを作り出すといった三者三様のやり方で支援の改善をしていました。荅山寮・第二荅山寮・グループホームでは記録・日誌は手書き、ご家族や外部への書類はパソコンで出力しています。遅れている一方、現場の支援員が画一的でない内容を書くお陰か、手前味噌ですが記録の質は高いと思つています。しかし、机に向かう時間が多く、それを確保するために削られた事もあります。課題は、記録の質を担保しつつ机に向かう時間を減らし、支援の質を高めることです。目指す以上別の何かを手放すことも考えられます。ですので極端に振り切らないよう、少しずつ

サービスの現場より

『事務所便り』

第二苓山寮事務長

大塚 伸二



十月は法令や制度の変更が多い月で、事務所にとって注意すべき月です。今年も十月一日より、職場において行われる顧客等（取引先の従業員等を含む。）の言動であって、職員が従事する業務の性質その他の事情に照らして社会通念上許容される範囲を超えたものにより、職員の就業環境が害されるカスタマーハラスメント対策、事業主が雇用する職員による「性的な言動」で求職者等により求職活動等が阻害される、求職者等に対するセクシャルハラスメント対策が義務化され、事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発、相談体制の整備、事後の迅速かつ適切な対応、対応の実効性を確保するために必要なカスタマーハラスメントの抑止のための措置等を規程で定める必要があります。また、カスハラの内容及びあらかじめ定めた対処の内容を職員に周知する必要があります。啓明会では、ハラスメント規程の変更、ポスターの掲示で対応したところです。また、最低賃金も今年一月に八二円あがり、一、〇三四円ですが、十二月には五八円引き上げられ、一、〇九二円になる予定です。注意していききたいと思います。

『担当利用者さんへの取り組み』

第二苓山寮

支援課長補佐 株野 勝



私が担当しているAさんの意思決定と、その関わりについてご紹介したいと思っています。グループホームで生活されていたAさんは、令和六年三月に当施設に入所されました。就労経験があり、高い社会性を身につけておられます。そんなAさんが今年度は、“日中活動を楽しみ、生き生きと暮らしたい”“写真の趣味を生かし、撮った写真を皆に披露する”という目標を掲げられました。釣り・写真・映画鑑賞等多くの趣味を持つておられるAさんに、毎月実施したい計画を自分で立てて貰い、必要な物品の購入や場所の予約、目的地までの移動等をサポートさせていただいています。中でもAさんの一番の趣味は釣りで、以前は、毎日のようにイカ釣りに行かれていた程です。施設から、十キロ以上離れた目的の釣り場まで一緒に行く計画を立て、シーズン到来を心待ちにされています。また、趣味の写真は、花や夕日等の自然・人や動物等を収めておられます。お気に入りの写真は、フォトフレームに入れ、施設内の行事の際に展示を行い、皆に披露する機会を設けて、満足感へと繋がるよう取り組んでいるところです。これからも、Aさんの意思をサポート出来るよう取り組んでいききたいと思います。

『担当利用者さんへの取り組み』

苓山寮支援主任

船岡 樹里



私が、担当させていただいている利用者さんは、苓山寮で最も高齢な方です。しかし、年齢を感じさせない位お元気で、歩行の時間になると我先に立ち上がり参加されています。特に屋外の歩行を好まれ「外が気持ちの良かな。」と周囲の風景を眺められています。先日は、黄金色になった稲を見て「もうそろそろ稲刈りせんば、私も昔はしよったけん。」と稲刈りの仕事をしてみせてくださり、生き生きと昔話をして下さいます。踊りも得意で、敬老会では野崎詣りの歌に合わせて和傘を使った踊りを披露してくださいました。現在歩行器を使用されていますが踊りが始まると、しっかりとした足取りで最後まで堂々と踊られました。又、編み物も得意で熱心に編まれており、丸い形で色んな大きさの物が出来上がります。繋ぎ合わせる事で、バッグが出来上がりました。現在作成中の作品は、熊本の展示会に出す予定です。何事にも興味を持たれ、積極的に参加したいという気持ちを持たれている方です。これからも元気に過ごしてもらえ、好きな事を行って頂きたい、活気ある日々を過ごして頂けるよう支援させていただきます。

『災害復興派遣』

苓山寮支援副主任

池田 隼人

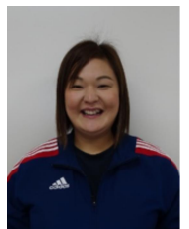


災害復興派遣として八月二七、二八日に熊本県宇城市松橋町「熊本こすもす園」に行ってきました。熊本地震で施設内の天井が落ちたり、一部傾いている所もありました。施設内では全員が生活するのは難しく十名の男性利用者の方は避難所にて生活をされていました。そこでは地域の方も避難されていましたが、利用者の方に対して優しい対応をされており、こすもす園がこれまでにどれだけ地域貢献をされて来たかが伺えました。又、同じ施設同士で助け合いイベントやお風呂の貸し出し等も行われていました。この地震での人的被害はなかったとの事は不幸中の幸いとも話されていました。厳しい環境の中でも、現場の職員の皆様や利用者の方々が前を向いている姿に接し、安心・安全に過ごせる日常を一日でも早く取り戻す事が最優先課題であると共に緊急時における地域社会や外部機関との連携の大切さも再認識する事ができ、非常に意義深い派遣となりました。

『サビ管基礎研修』

苓山寮支援員

中原 愛



サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修を受講しました。研修では、サービス提供の基本的な考え方や利用者さん主体の支援について学びました。特に、利用者さん本人の意思や希望を尊重し、自己決定を大切にしながらか支援する事の重要性を改めて感じました。また、サービス等利用計画と個別支援計画の関係や、PDC Aサイクルを活用して支援内容を継続的に見直していくことについても理解を深めることができました。個別支援計画の作成演習では、本人の強みやストレングスに着目し、本人の望む生活を意識して目標や支援内容を考えることを学びました。今回の研修で得た知識を日々の支援に活かし、利用者さん一人ひとりの思いや希望に寄り添い、その人らしい生活に繋がる支援を職員間で考えていきたいと思っています。

『強度行動障害支援者養成研修』

第二苓山寮支援員

松本 公博



今回の基礎研修では支援の基本的な考え方、強度行動障害時の状態や障害特性の理解、チームプレイの必要性などの項目があり、その中でも「自閉スペクトラム障害」について知識を深めました。特性として、理解や発信が難しく集団生活において人に関わる難しさや感覚、想像力の特性を学びました。言葉の理解が難しい場合は、本人にも分かるよう絵や数字を描いたカードを見せ、視覚で意思疎通を図る例があり、アイデア次第でコミュニケーションが取りやすくなり、落ち着いた生活を送る工夫が勉強になりました。もう一つ勉強になった事が記録の取り方です。「仮説の検証と振り返りの重要性から、課題となる行動の記録を基に色々な支援を試し、対応を変えていき、チームで共有して改善していくことで本人にあった支援を作っていくことが重要」とありました。私の半年間の記録は利用者が一日何をしたかの日記であり検証につながる記録ではないことに気づき、支援員としての未熟さを痛感しました。研修後は利用者の表情や感情、目線に至るまで何を考え、いつもの行動との違いに気づけるような見方が変わりました。他の職員にも上手く伝わるよう行動観察記録の記入を行っていきます。利用者の特性を変える事は難しいですが、受け止め方や違いに応じて支援し、先輩達に相談しながらより良い支援が出来るよう、利用者と一緒に自分も成長していきたいと思っています。

敬老・長寿のお祝い

朝、夕の気温が下がり、過ごしやすくなってきた去る9月16日に敬老会を開催しました。今年は芥山寮25名、第二16名、職員3名の方々のお祝いをさせて頂きました。メッセージカードとお祝いの品を受け取られ皆さん大いに喜んでいらっしゃいました。会の後半では両施設併せて最高齢の92歳女性による「野崎参り演舞」と第二の78歳の男性による歌謡ショー、そしてフラダンスの発表があり会場は大いに盛り上がっていました。敬老会は長寿の方へ感謝と敬意をお伝えする会ではありますが、逆に皆さんから元気をいただくという楽しい会となりました。



【芥山寮：25名】

伊津野縫子さん（92歳）
西田 廣幸さん（79歳）
赤星 信一さん（喜寿）
今井 次男さん（75歳）
内古閑元雄さん（74歳）
前田の婦子さん（73歳）
石川美恵子さん（71歳）
春日 勝也さん（古希）
益田 重男さん（還暦）

稲田キヨ子さん（87歳）
新谷八重子さん（79歳）
小田 義隆さん（喜寿）
栗原 節子さん（75歳）
松本 隆さん（74歳）
園田 幸子さん（72歳）
坂口美和子さん（71歳）
池田 富春さん（還暦）

中村 英子さん（79歳）
大久保實也さん（喜寿）
夷 敬治さん（76歳）
福島千恵子さん（75歳）
大塚 治代さん（74歳）
田中 忠信さん（71歳）
中村由佳里さん（71歳）
小山 兼徳さん（還暦）

【第二芥山寮：13名】

嶽坂 安男さん（83歳）
古川 秋男さん（78歳）
里 信之さん（73歳）
吉田 実夫さん（古希）
松谷 恵子さん（還暦）

柴田 勝則さん（82歳）
山口 忠明さん（74歳）
山本智夏子さん（71歳）
中田 哲也さん（還暦）

山隈 孝也さん（81歳）
坂口 保代さん（73歳）
植村史津子さん（古希）
福嶋 昭博さん（還暦）

【GHつばさ：3名】

松本 良勝さん（傘寿）

村本 政春さん（傘寿）

中村 勇さん（74歳）

一泊旅行

苓山寮は二班に分かれて長崎旅行へ出かけました。一日目は口之津港から雲仙市へ向かい、小浜市の旅館で豪華な食事に舌鼓を打ち、温泉でゆったりとした時間を過ごしました。二日目はペンギン水族館を見学して帰寮しました。第二苓山寮は一泊旅行の第一弾として大矢野町へ女子旅に出かけました。三角西港を観光し、一棟貸しの宿泊施設で贅沢な時間を過ごされました。どちらの旅行も利用者の皆さんは楽しみに待ち望んでおられ、当日になると普段とは違う食事や観光地の風景を満喫して、たくさんの笑顔が溢れていました。



苓秋祭 10月2日

今年の秋祭りは、これまでの屋外開催から施設内での開催へ変更しました。変えていくことの難しさや、職員からは不安や戸惑いの声もありましたが、一人ひとりの思いや多様な考えを大切に「今できることは何か」を考え、準備を進めました。当日は、室内でもお祭りの雰囲気を楽しんでいただけるよう工夫し、利用者の皆さんやご家族の笑顔が見られました。「良かった」「楽しかった」とのお言葉もいただき、少しでもアットホームな時間になったのではないかと思います。今回の経験を活かし、これからもより良い形を目指していきたいと思います。



【新入職員】



江口 亮 さん
第二苓山寮支援員

これからよろしく
お願ひします



へお祝いへ

・苓山寮の臺良支援員（旧姓宮口）がご結婚されました。おめでとうございます。末永くお幸せに。

・第二苓山寮松崎榮養士がご結婚されました。おめでとうございます。幸せな家庭を築いて下さい。

『本町町民体育祭』

今年度の町民体育祭は七名の利用者さんが、最初の種目のパン取り競争に参加をされました。パン取り競争では、途中に吊るしてあるパンを取りゴールまで行くという競技でした。開会式が始まると真剣な面持ちで参加をされ、競技時間が近づいてくると、少し緊張した様子が見られていました。競技が始まりスタートの号令が鳴り響くと一斉にパンが吊るされている所まで走り、途中にあるパンを必死に取ろうとされていました。パンが取れるとゴールまで頑張つて皆さん走ってゴールをされました。利用者の皆さん楽しかった、また参加したいと感想を話してくれました。このような地域の行事に参加する事ができ、交流を深める良い経験になりました。

日常生活の風景



中田 育代さん

毎朝職員に「おはよう」の挨拶の言葉と共に駆け寄り握手「昨日お母さんから電話のあったよ」「今日の朝ご飯全部食べたよ」と日々の出来事をにこやかに伝えて下さる育代さん。給食が大好きで「今日は唐揚げばい、デザートはアイスのあつとて」とその日の献立を記憶し皆に教えて下さる育代さん。今日の活動や行事が気になり「今日はオーブンカフェばい」「今日は歩行はあつとね」と毎日が楽しみな育代さん。全てが育代さんの持ち味であり、魅力でもあります。そんな感情豊かな育代さんらしさを大切に施設の仲間と仲良く過ごしていただければと思います。



松谷 恵子さん

今年六十歳を迎えられました。九月に行われた敬老会では赤いちゃんちゃんこに身をまとい笑顔で表彰されました。第二苓山寮の利用者からは、「恵子ちゃん」という愛称で呼ばれ、リーダー的な存在です。また朝礼の司会や、食事の際の放送も継続して頑張っておられます。朝の放送の最初には「夜勤の〇〇さんお疲れ様でした。」と、いつもねぎらいの言葉を掛けて下さり、その言葉を聞くと疲れた心が温かくなります。そんな素敵なお仕事を担当である私もしっかり見習っていききたいなと思います。

へ行事予定へ

十月 十九日

チャレンジσ0
第四回管内研修

二十日

二六日

第三者委員会
オープンカフェ

十一月 三日

文化の日

えがおの会

十日

チャレンジσ0
創立五九周年記念日

十六日

十七日

亀小交流会
勤労感謝の日
オープンカフェ

一九日

二三日

三十日

へ編集後記へ

十月に入り涼しい日も増えてきました。いかがお過ごしでしょうか。日本全国では、地震、豪雨など自然災害が起きています。記録を更新する事もあり、災害に対する対策を改めて考えていかないとなくなっています。先日地震では、前回の熊本地震に比べ被害が大きいと言われており、これまで通りでなく先を見据えた対策が必要だと感じさせられました。利用者さんが安心して暮らしていただくために我々も改めて防災について考えないといけません。季節の変わり目に入り、寒暖差もはげしくなり体調も崩しやすい季節に入ります。体調にお気を付けて過ごして下さい。

